

こんにちは
2月号

酒井まさえ



2024年2月14日 連絡先日本共産党杉並区議団控室 3312-2111 (2320) 区議会 3312-2610 **です**
sakaimasae.0507@gmail.com 090-9325-5676

杉並区議会第1回定例会

来年度予算 防災対策の強化・区民福祉が前進

2月9日から杉並区議会第一回定例会が始まり、区長が示した来年度予算案について議論が行われています。

党区議団の提案や要求 多数反映される予算案に

来年度予算は、一般会計で2222.8億9200万円で、対前年度比12.1億9200万円、5.8%増となっています。防災関連では、能登半島地震を踏まえ、発災後3日分の食料や間仕切り、トイレ収便袋、女性特有の必需品などの備蓄品をはじめとした費用26億円余が計上されました。昨年10月から始まった区立学校の学校給食費無償化は継続し、新たに国立や私立に通う児童生徒にも給食費相当額に当た

る給付金を支給することが示されました。ヤングケアラーの支援、労働者の処遇改善等の費用が計上されたことも重要な前進です。

この他にも、前区政では進まなかった学校トイレの洋式化促進、生理用品の区役所本庁舎等への配置など、日本共産党区議団が求めてきたことが多数反映されました。

日本共産党区議団からは、山田幹事長が、区長の予算編成方針にたいして代表質問を行いました。区長から、区民福祉の前進や防災対策の強化の予算を計上しているとの答弁がありました。



2月9日 所信表明をする岸本区長

新年度予算に計上された事業(一部)

- 防災・減災への取組強化 26億2168万6千円
備蓄品の充実、震災救援所へのポータブル蓄電池の配備、感震ブレーカーの設置促進、建物の耐震化・不燃化、狭隘道路の道路拡幅、突出した電柱移設
- グリーンインフラによる雨水流出抑制対策の強化 9516万円
- 区役所本庁舎で調達する電力を100%再生可能エネルギーへ 1億623万3千円
- 学校給食費の無償化 23億7705万8千円
区立小・中・特別支援学校給食費無償化
国立・私立等小・中学校給食費相当額にあたる給付金の支給
- 教育相談体制の充実 7547万円
スクールカウンセラーの拡充・スクールソーシャルワーカーの配置方法の見直し
- ヤングケアラーの支援 1242万7千円
LINEを活用した相談の実証実験の実施
高校生世代の実態調査の実施等
- 会計年度任用職員給与の見直し 10億4460万3千円
報酬額の上限等の見直し・勤勉手当の支給
公契約条例労働報酬化減額の引き上げ
下限額 1,138円→1,231円 8.17%引き上げ
- 地域包括支援センター(ケア24)運営事業者への財政支援拡充 1億1019万5千円
- 学校トイレの洋式便器化の推進 1億5千万円
- 生理用ナプキンの無料配布の拡充 98万5千円
区役所本庁舎、地域区民センター(3所)

酒井地域 新春のつどい

2月23日(金)祭日 午後1時から

場所 東京土建会館

話題の赤旗日曜版

お話 山田健介記者(デスク)

「自民党の裏金疑惑について」

ミモザコーラスの友情出演もあります。



参加費
無料

能登半島地震 被災者への支援強化

区の震災対策総点検を要請 区長に申し入れ

トイレの洋式化実現

区民のみなさんから、公園のトイレの洋式化の要望が寄せられ、私は議会で取り上げ、昨年12月に洋式化が実現しました。洋式化は、震災対策にも重要で、大変喜ばれています。

これからも、みなさんの声を区政に届け改善していきます。



梅里中央公園トイレ



梅里区民集会所トイレ



危機管理室長に申し入れ書を手渡しました

【申し入れ項目】(一部抜粋)

(党区議団ホームページに掲載)

■被災地支援

- ・災害義援金募金箱の設置場所を増やし、ポスター等で協力呼びかけ文を掲示すること。区長を先頭に街頭でも義援金の協力を呼びかけること。よせられた義援金は、速やかに現地に届け、区民にも都度報告すること。
- ・国、東京都と調整し、現地の要望に速やかに応えられるよう職員派遣の準備を進めること。
- ・支援物資について、被災自治体の要望を確認し、速やかに対応すること。輸送トラック及び運転手はトラック協会の協力を得ている例もあり、参考にすること。

■区の震災対策

- ・プロジェクトチームを立ち上げ、能登半島地震を参考に被害想定総点検をはじめること。
- ・住宅の耐震化、不燃化の促進。助成制度の拡充を検討すること。
- ・救出体制、消防水利などの点検と、必要な準備をすすめること。
- ・避難所の規模、設備や備品、備蓄食料などの総点検をするとともに、備品等の拡充をすすめること。避難所等での子どもの居場所の確保及び、被災した子どもの心のケア対策の検討を進めること。
- ・高齢者、障害者など災害時要配慮者への対策を総点検し、改善、拡充すべきことは実施に踏み出すこと。



1月18日、日本共産党区議団は、岸本区長に対し、能登半島地震被災地への支援強化とともに、杉並区としての震災対策の総点検と対策強化を求める申し入れを行いました。
(主な申し入れ項目は左下参照)

長期化する避難生活 被災地の要望を把握し最大限の支援を

申し入れでは、募金の協力の呼びかけを強めることや、物資について、被災自治体の要望を確認し、速やかに対応すること等を要請しました。対応した危機管理室長は「区も支援を進めていきたい」と答えました。

その後、区は、交流自治体である福島県南相馬市を通じて石川県七尾市が物資を求めていることを把握し、1月22日、保水2リットル1200本、クッキー5600食、おかゆ1400食、ブルーシート150枚などを危機管理室の職員5名が現地に届けました。1月末には保健所職員も派遣しています。

また、今回の地震を受け、多くの区民が、首都直下地震等が起きたらどうなるのか、杉並区の対策は大丈夫かなど不安を募らせており、区の震災対策について、直ちに着手すべきことや準備をすすめるべき点について提案しました。

健康の話 ヒートショックについて

2月に入り、春を思わせる日差しが多くなってきましたが、まだまだ朝晩は気温が低いです。

今の季節に気を付けたいのが、「ヒートショック」です。

ヒートショックとは、気温の低いところから暖かい部屋へ、または、暖かい部屋から寒い部屋への移動などによる急激な温度変化によって、血圧が上下に大きく変動することがきっかけで起こる、体の変化です。

特に冬季の入浴時に起こりやすいので知られています。血圧の変動により、失神や心筋梗塞、脳梗塞が起こります。

予防を挙げてみます。

- ① 入浴前に脱衣室と浴室を暖かくする
 - ② 湯船に入る前に、シャワーやかけ湯で体を温める
 - ③ 湯船の温度はぬるめ(41度以下)とし、長湯をさける
 - ④ 入浴前後に、コップ1杯の水分補給をする
 - ⑤ 入浴前のアルコール、食後すぐの入浴は控える
 - ⑥ 血圧が高いときは入浴を控える
 - ⑦ 家庭内で、家族が守る体制をつくる
- 一人暮らしで心配の方は、杉並区で行っている「高齢者緊急通報システム」の制度を使うこともお勧めします。
- お気軽にご相談ください。

お困りのことがありましたら
酒井にご連絡ください。

